

「虎ノ門ヒルズ森タワー」は、東京都港区虎ノ門に位置する1.7haの複合再開発地で、2014年に竣工しました。自然環境の中で人々が憩う都市づくりを目標としています。評価された主なポイントは以下の通りです。

自然と共存する都市づくり

緑がほとんど失われていた場所に、新たに樹林地や草はらを作り出し、大きく育てている点が大変評価できます。

地域本来の自然をお手本に

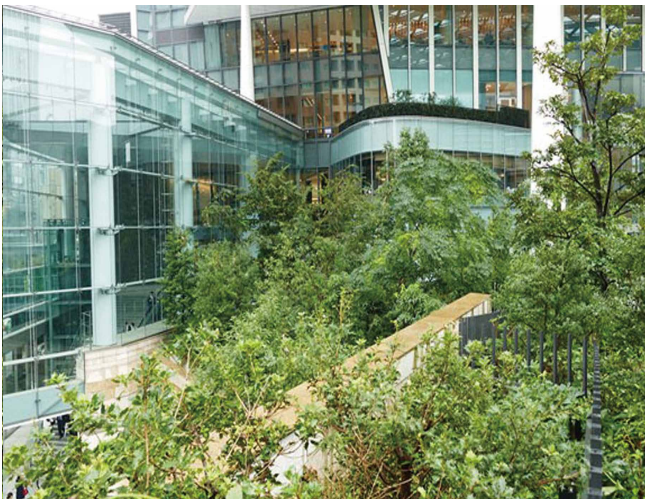
地域本来の自然の再生を目指し、タブノキ、イヌシデ、ヒサカキ、ススキ、チガヤなどが数多く植栽されています。緑地面積の90%以上に在来種が使われています。

野鳥や昆虫が住みやすく

常緑樹を中心とした緑の濃い樹林、落葉樹を中心とした明るい樹林、開けた草はらなど、多くの野鳥や昆虫が住みやすい環境づくりを意図したゾーニングがなされています。



評価対象事業の位置



常緑樹を中心としたエントランスホール付近



認証の取得や野生の生き物について紹介するサイン看板